

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

春号
2022



風のおと

『5度目の春』

昨年度、4月に50周年式典を行うことができましたことは、支えてくださった多くの方々や地域の皆さまのおかげです。ありがとうございました。

3月末に、7人の仲間を送り出し、4月に8人の仲間を迎え、私は赤城で5度目の春を迎えることになりました。

4月は、多くの方が新年度の希望を持って、新たな一步を踏み出すことでしょう。赤城は、今年度新卒者2名を仲間を迎えました。

SBIホールディングス社長の北尾吉孝氏は、人は「何のために働くのか」という問いに、「人間は仕事の中で成長する」と答えています。

職員全員が仕事を通して成長していけるような施設経営を目指したいと思います。

今年度も、基本を大切に職員一同取り組んでいきたいと思いますので、応援くださいますようお願いいたします。

所長 松村 純子

あかぎをつかう!

令和4年度の利用についてのお知らせ

令和4年度の利用にあたって、活動プログラムの新設・変更、教材等料金の変更など、いくつかの見直しを行っています。詳しくは、当施設HPや「2022.03改正利用の手引き」で最新の情報をご覧ください。なお、「利用の手引き」につきましては、令和4年度以降、データ発行のみとさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、皆様のご利用お待ちしております。



【事業等報告】



報告

■全国高校生体験活動顕彰制度 「地域探究プログラム」全国ステージ

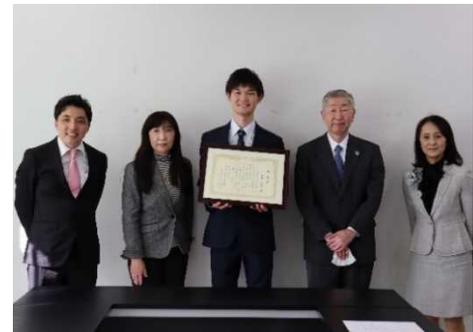
2月13日（日）、高校生が自ら発見した地域課題への取り組みや成果を発表する「地域探究プログラム」全国ステージが開催されました。市立前橋高校2年の三森幹太さんが、安中市の横川地域でのボランティア活動を通して感じた地域の課題や解決策について発表を行い、国立青少年教育振興機構特別賞を受賞しました。



■法人ボランティア表彰

3月16日（水）、赤城の法人ボランティアとして2年にわたり活躍した文教大学4年生の若井悠貴さんが、国立青少年教育振興機構本部より表彰されました。

若井さんは夏季の長期キャンプでリーダーを務めたり、ボランティア自主企画の中心となるなど法人ボランティアとして積極的に活動しました。



■トム・ソーヤスクール企画コンテスト 一般部門 「最優秀賞」受賞

3月26日（土）、安藤スポーツ・食文化振興財団による「トム・ソーヤスクール企画コンテスト」の表彰式が行われました。「限界突破キャンプ」が3年間の取り組みが評価され、一般部門の最優秀賞である「安藤百福賞」を受賞しました。



異動のお知らせ

交流の家では、下記のとおり人事異動がありましたのでお知らせします。

令和4年4月1日付け着任

次長 齊藤 裕徳
（前職：前橋市立荒牧小学校 教頭）

企画指導専門職 杉山 直弥
（前職：新潟県立久比岐高等学校 教諭）

企画指導専門職 中山 太平
（前職：栃木県足利市立葉鹿小学校 教諭）

事業推進係員 小野 北斗（新規採用）

総務係長 逸見 博俊
（前職：群馬大学総務部人事労務課給与係主任）

管理係主任 白石 崇尋
（前職：群馬大学学務部学生支援課学生生活係一般職員）

【新規採用】

事業推進係（非常勤） 小沼 朋暉
管理係（非常勤） 新藤 祐司

令和4年3月31日付け転出・退職

次 長 鈴木 昭博
（転出先：茨城県古河市立駒込小学校 校長）

主任企画指導専門職 塩原 基寧
（転出先：栃木県佐野市立葛生小学校 教諭）

企画指導専門職付 反町 峻
（転出先：群馬県高崎市立群馬南中学校 教諭）

事業推進係員 成清 裕史
（転出先：国立妙高青少年自然の家 事業推進係員）

総務係長 吉田 真祐
（転出先：群馬大学昭和地区事務部総務課庶務係長）

管理係主任 朝日 麻理奈
（転出先：群馬大学研究推進部研究推進課研究支援係主任）

【退職】事業推進係（非常勤） 阿佐美 幸子

国立赤城青少年交流の家 <https://akagi.niye.go.jp/>
TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp



【タイトルの「カラゴロリ」は、赤城名物の「からっ風」と雷の「ゴロゴロ」に由来します】